

特定施設設置（既設）届出書（水質）

〇〇年〇〇月〇〇日

和歌山県知事 〇 〇 〇 〇 殿

郵便番号
〇〇〇〇－〇〇〇〇〇

電話番号
(〇〇〇) 〇〇〇－〇〇〇〇〇

届出者

〇〇県〇〇郡〇〇町〇〇番地

株式会社〇〇
代表取締役 〇 〇 〇 〇

和歌山県公害防止条例第 2 4 条~~（第 2 5 条）~~の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

| | | | |
|----------------|--------------------|-----------------|------------------------------------|
| 工場等の名称 | 株式会社〇〇工場 | 排出水の 汚染状態及び量 | ▲別紙 4 |
| 工場等の所在地 | 〇〇郡〇〇町〇〇番地 別図 1 | 用水及び 排出水の状況 | ▲別紙 5 |
| 業種 | 保存食料品製造業 | ※受理年月日 | |
| 常時使用する 従業員 | 〇〇人 | ※整理番号 | |
| 特定施設の種類 | 4 号 さらし施設 | ※審査結果 | |
| 特定施設の構造 | ▲別紙 1 | ※備考 | |
| 特定施設の使用 の方法 | ▲別紙 2 | 担当者職氏名 電話番号 | 〇〇部〇〇係長 〇〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇－〇〇〇〇〇 |
| 汚水等の 処理の方法 | ▲別紙 3 | 公害防止責任者 | 〇〇〇〇〇 |

備考 1 ▲印の欄については、別紙によることとし、できる限り図面、表等を利用すること。
 2 ※印の欄については記載しないこと。
 3 用紙の大きさは、やむをえないものを除き日本産業規格 A 4 とする。

(記載方法)

- 1 工場等の名称
特定施設を設置しようとする工場等の名称を記載
- 2 工場等の所在地
特定施設を設置しようとする工場等の所在地を記載し、「別図 1」を添付
- 3 業種
条例施行規則別表第 3（その 4）に該当する業種を記載
- 4 常時使用する従業員
常時使用する従業員数を記載
- 5 特定施設の種類
条例施行規則別表第 3（その 4）に該当する施設番号及びその名称を記載
- 6 特定施設の構造
「別紙 1」へ記載
- 7 特定施設の使用の方法
「別紙 2」へ記載
- 8 汚水等の処理の方法
「別紙 3」へ記載
- 9 排出水の汚染状態及び量
「別紙 4」へ記載
- 10 用水及び排出水の状況
「別紙 5」へ記載
- 11 担当者職氏名電話番号
届出内容の照会に応じられる担当者の職氏名及び電話番号を記載
- 12 公害防止責任者
公害防止責任者の氏名を記載

有害物質取り扱いリスト

| | | |
|-----------------|---------------|--------------|
| 工場・事業場名称 | 記入担当部署（又は担当者） | 連絡先TEL |
| 〇〇株式会社 △△事業所 | 〇〇部〇〇課 〇〇係 | XXX-XXX-XXXX |

| 有害物質 | 該当すれば「○」を記入 | | 取り扱い期間 (有害物質の取り扱い開始から終了まで) |
|--|----------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| | 特定施設 (有害物質貯蔵指定施設)での取り扱い | 特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) 以外での取り扱い | |
| 四塩化炭素 | | | |
| 1,2-ジクロロエタン | | | |
| 1,1-ジクロロエチレン | | | |
| 1,2-ジクロロエチレン | | | |
| 1,3-ジクロロプロペン | | | |
| ジクロロメタン | | | |
| テトラクロロエチレン | | | |
| 1,1,1-トリクロロエタン | | | |
| 1,1,2-トリクロロエタン | | | |
| トリクロロエチレン | | | |
| ベンゼン | | | |
| カドミウム及びその化合物 | | | |
| 六価クロム化合物 | | | |
| シアン化合物 | | | |
| 水銀及びその化合物 | | | |
| セレン及びその化合物 | | | |
| 鉛及びその化合物 | | | |
| 砒素及びその化合物 | | | |
| ふっ素及びその化合物 | | | |
| ほう素及びその化合物 | | | |
| シマジン | | | |
| チオベンカルブ | | | |
| チウラム | | | |
| ポリ塩化ビフェニル (PCB) | | | |
| 有機リン化合物 (注1) | | | |
| アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 | | | |
| 塩化ビニルモノマー | | | |
| 1,4-ジオキサン | | | |
| これら上記の全有害物質を取り扱っていない場合は右の空欄に○をご記入ください。 | | | ○ |

注1 有機リン化合物とは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン、EPNをいう。

注2 有害物質を取り扱うとは、有害物質を製造、使用、処理又は貯蔵する等をいう。

注3 取り扱う有害物質がある場合は、さらに「有害物質の取り扱い状況」に記入が必要です。

注4 過去に取り扱っていた、または今後使用等する有害物質すべてについて記入すること。

(記載方法)

工場・事業場において「有害物質取り扱いリスト」の一覧にある水質汚濁防止法に定める有害物質を製造、使用、処理、又は貯蔵するなど、有害物質を取り扱う（以下、「取り扱う」と言う。）場合には記入して下さい。また、取り扱うことがない場合は、最下の欄に○を記入して下さい。特定施設で取り扱う有害物質だけでなく、これら以外に届出する工場・事業場内で取り扱われる有害物質についても、取り扱いの有無を記載下さい。過去に取り扱っており、現在取り扱っていない物質についても可能な限り記載下さい。

まず、特定施設で取り扱うのか、それともこれら以外で取り扱うのかにつきまして、どちらか、または両方に○を付けてください。

次に、取り扱っていた期間についても記入下さい（記載例：H10.2～H23.10 / H26.4～）。取り扱い期間が複雑で書ききれない場合などは、別途「有害物質の取り扱い状況」に記載してください。

また、なお、条例ではないですが、水質汚濁防止法では、有害物質使用特定施設及び有害物質貯蔵指定施設とは以下のことをいいます。

●有害物質貯蔵指定施設

有害物質（液状）を貯蔵することを目的として水質汚濁防止法に定める有害物質を「貯蔵している施設」。なお、貯蔵する有害物質の濃度によらず、大臣が定める方法で検出される濃度であれば届出が必要。

●有害物質使用特定施設

水質汚濁防止法施行令別表第1に規定する特定施設のうち、水質汚濁防止法に定める有害物質を、その施設において製造し、使用し、又は処理する特定施設。なお、製造、使用、処理するとは以下のとおり。

| | |
|-----|---|
| 製 造 | ：当該特定施設において、有害物質を製品として製造すること。 |
| 使 用 | ：当該特定施設において、有害物質をその施設の目的に沿って原料、触媒等として使用すること。 |
| 処 理 | ：当該特定施設において、有害物質又は有害物質を含む水を処理することを目的として有害物質を分解又は除去すること。 |

有害物質の取り扱い状況

| 使用等物質名 (有害物質) | 薬品名・原料の保管方法（どういう形状のもので購入され、使用等されるまでのように保管されるか）・取り扱い場所（特定施設(有害物質貯蔵指定施設)で取り扱う場合は、どの施設で取り扱われるのか）・取り扱う目的・取り扱い方法・廃液の処理方法・その他 |
|------------------|---|
| | |
| | 有害物質を取り扱わない場合は届出不要 |
| | |
| | |
| | |

過去使用していた、または今後使用する有害物質すべてについて記入すること。
有害物質が使用されている薬品の成分がわかるもの（MSDS 等）を別途添付すること。

(記載方法)

「有害物質取り扱いリスト」の一覧にある水質汚濁防止法に定める有害物質を取り扱う場合は、それぞれの項目について、薬品名・原料の保管方法（どういう形状のもので購入され、使用等されるまでのように保管されるか）・取り扱い場所（特定施設(有害物質貯蔵指定施設)で取り扱う場合は、どの施設で取り扱われるのか）・取り扱う目的・取り扱い方法・廃液の処理方法等について記入してください。

なお、有害物質を取り扱わない場合は、前述の「有害物質取り扱いリスト」のみ提出頂き、「有害物質の取り扱い状況」については提出して頂く必要はありません。

この記載例では、保存食料品製造業として作成しており、有害物質は取り扱わない設定ですが、仮に取り扱う（取り扱っている・取り扱っていた）場合のいくつかの記載例を以下に示しますので参考としてください。

【有害物質を取り扱う場合の記載例】

有害物質の取り扱い状況

| 使用等物質名 (有害物質) | 薬品名・原料の保管方法（どういう形状のもので購入され、使用等されるまでのように保管されるか）・取り扱い場所（特定施設(有害物質貯蔵指定施設)で取り扱う場合は、どの施設で取り扱われるのか）・取り扱う目的・取り扱い方法・廃液の処理方法・その他 |
|------------------|--|
| ジクロロメタン | 薬品名は▲▲（別添MSDS参照）。特定施設では使用等しないが、○○のために使用される機械（別添■参照）の部品を洗浄するために使用。部品を水洗等したのち、▲▲をしみ込ませた布で最後に拭く。この布は廃棄物として処理。薬品の入った容器も廃棄物として処理するので、廃液は全て回収されている。 |
| 六価クロム化合物 | 薬品名はXX（別添MSDS参照）。原材料は粉体であり、○○保管室に保管している。○○という特定施設で使用している。製造する金属部品の表面処理に使用。粉体を、当該特定施設の槽で水に溶かして表面処理溶液を作成する。廃液は、殆ど産廃として回収し処理するが、一部回収しきれないものは排水処理施設で処理後、排出される。 |
| 鉛化合物 | 様々な試薬類に含まれており、試験研究時に使用する。使用は研究室内に限られ、廃液及びこれらに使用したフラスコなどの機具類の洗浄水も、鉛が検出限界以下になるまで全量回収し産廃処理するため、排水中には一切含まれない。 |
| シアン化合物 | 薬品名はYY（別添MSDS参照）。現在設置している特定施設で今も使用している。製造する金属部品の表面処理に使用。薬品を、機械の容器に流せば後は自動で表面加工する。廃液は、排水処理施設で処理し排出している。 |
| アンモニア | アンモニア水(20%w/w)として、最大貯蔵量8tの地上タンクに貯蔵している。アンモニア水は、○○を中和するために使用している。アンモニア水は、タンクローリー車からタンクに供給され、タンクから生産設備に流入する。 |

別紙 1

特定施設の構造

| | | |
|--------------|---|-------|
| 工場等における施設番号 | N o . 1 | |
| 特定施設号番号及び名称 | 4 号 さらし施設 | |
| 型 式 | ◎◎A型 別図 2 | |
| 構 造 | ステンレス製 別図 2 | |
| 主 要 寸 法 | 縦1,000mm×横200mm×高さ50mm 別図 2 | |
| 能 力 | ◎◎さらし◎◎kg/日 さらし容量0.01m ³ /日 | |
| 配 置 | 別図 3 | |
| 設 置 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 工事着手予定年月日 | ◎◎年◎◎月◎◎日 | 年 月 日 |
| 工事完成予定年月日 | ◎◎年◎◎月◎◎日 | 年 月 日 |
| 使用開始予定年月日 | ◎◎年◎◎月◎◎日 | 年 月 日 |
| その他参考となるべき事項 | | |

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

(記載方法)

- 1 工場等における施設番号
工場等の全施設のうちから当該特定施設を特定するために当該工場等において用いている番号を記載（番号は「別図3」の番号と対応）
- 2 特定施設番号及び名称
条例施行規則別表第3（その4）の当該特定施設の該当する施設番号及びその名称を記載
- 3 型式
規格の番号を記入し「別図2」を添付
- 4 構造
主要な材質・構造を記入し「別図2」を添付
- 5 主要寸法
施設全体の外形寸法又は主要部の寸法を記載「別図2」を添付
- 6 能力
施設を1日最大限稼働させた場合の能力を記載
- 7 配置
特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置が分かる「別図3」を添付。
特定施設については、色分けする等で他の施設と区別。
- 8 設置年月日
記載不要
- 9 工事着手予定年月日
工事完成予定年月日
使用開始予定年月日
} 予定年月日を記載
- 10 その他参考となるべき事項
 - ・同時に同機種の特設施設を複数基設置する場合にその数を記載
 - ・特定施設の構造について参考となるべきことを記載

別紙 2

特定施設の使用の方法

| | | | | | |
|------------------------------------|----------------------------|---------------------------------------|---------|-----|-----|
| 工場等における施設番号 | | N o . 1 | | | |
| 特定施設番号及び名称 | | 4 号 さらし施設 | | | |
| 設 置 場 所 | | 別図 3 | | | |
| 操業の系統 | | 別図 4 | | | |
| 使用時間間隔 | | 8 時から 1 7 時 | | | |
| 1 日当たりの使用時間 | | 8 時間/日 | | | |
| 使 用 の 季節的変動 | | 6 月から 9 月まで稼働 | | | |
| 原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び 1 日当たりの使用量 | | 原 料 ◎◎kg/日 ◎◎液 ◎◎m ³ /日 | | | |
| 汚水等の汚染状態 | 種類・項目 | 通 常 | 最 大 | 通 常 | 最 大 |
| | pH | 5.8～6.8 | 5.8～6.8 | | |
| | BOD (mg/L) | 200 | 250 | | |
| | COD (mg/L) | 200 | 250 | | |
| | SS (mg/L) | 200 | 250 | | |
| | ノルマルヘキサン (mg/L) | 35 | 40 | | |
| | T-N (mg/L) | 25 | 30 | | |
| | T-P (mg/L) | 20 | 20 | | |
| | 大腸菌群数 (個/cm ³) | 無数 | 無数 | | |
| 汚水等の量 (m ³ /日) | | 通 常 | 最 大 | 通 常 | 最 大 |
| | | 40 | 50 | | |
| その他参考となるべき事項 | | ◎◎液については委託業者が回収 (業者名◎◎株式会社) | | | |

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

(記載方法)

- 1 工場等における施設番号
「別紙1」と同一
- 2 特定施設号番号及び名称
「別紙1」と同一
- 3 設置場所
「別紙1」と同一
- 4 操業の系統
施設を含む操業系統（フローシート）「別図4」を添付
- 5 使用時間間隔
1日における通常の使用開始時間と使用終了時間を記載
- 6 1日当たりの使用時間
1日当たりの使用時間を記載
- 7 使用の季節的変動
施設の使用時間、使用方法に季節的な変動がある場合その内容を記載
- 8 原材料の種類、使用方法及び1日当たりの使用量
施設で使用する原料、薬品等の種類等を記載（燃料は除く）
- 9 汚水等の汚染状態
施設から排出される可能性のある種類・項目の1日の通常値及び最大値を記載
- 10 汚水等の量
施設から排出される汚水等の1日の通常量及び最大量を記載
- 11 その他参考となるべき事項
 - ・汚水等を業者回収している場合はその旨と回収業者名を記載
 - ・施設で製造、使用、処理している有害物質について記載
 - ・施設以外で有害物質を使用している場合はその物質名及び使用量を記載
等

別紙 3

汚水等の処理の方法

| | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------------------------------------|---|---------|---------|---------|-----|-----|-----|-----|
| 工場等における施設番号 | N o . 2 | | | | | | | | |
| 処理施設の設置場所 | 別図 3 | | | | | | | | |
| 設置年月日 | 年 月 日 | | | | 年 月 日 | | | | |
| 工事着手予定年月日 | ◎◎年 ◎◎月◎◎日 | | | | 年 月 日 | | | | |
| 工事完成予定年月日 | ◎◎年 ◎◎月◎◎日 | | | | 年 月 日 | | | | |
| 使用開始予定年月日 | ◎◎年 ◎◎月◎◎日 | | | | 年 月 日 | | | | |
| 種類及び型式 | し尿処理施設 ◎◎省告示第◎号◎◎方式 (別図 5) | | | | | | | | |
| 構造 | 鉄筋コンクリート製地下埋設 (別図 5) | | | | | | | | |
| 主要寸法 | 縦10,000mm×横2,000mm×高さ5,000mm (別図 5) | | | | | | | | |
| 能力 | 処理対象人員◎◎人、計画汚水量◎◎m ³ /日 | | | | | | | | |
| 処理の方式 | ◎◎ばっき方式 | | | | | | | | |
| 処理の系統 | 別図 6 | | | | | | | | |
| 集水及び導水の方法 | 別図 7 | | | | | | | | |
| 使用時間間隔 | 2 4 時間 | | | | | | | | |
| 1 日当たりの使用時間 | 連続 2 4 時間 | | | | | | | | |
| 使用の季節変動 | なし | | | | | | | | |
| 消耗資材の1日当たりの用途別使用量 | 塩素系固形錠剤◎kg/日 ◎◎液◎m ³ /日 | | | | | | | | |
| 汚水等の汚染状態及び量 | 種類・項目 | 通 常 | | 最 大 | | 通 常 | | 最 大 | |
| | | 処理前 | 処理後 | 処理前 | 処理後 | 処理前 | 処理後 | 処理前 | 処理後 |
| | pH | 5.8～6.8 | 5.8～6.8 | 5.8～6.8 | 5.8～6.8 | | | | |
| | BOD(mg/L) | 200 | 10 | 250 | 20 | | | | |
| | COD(mg/L) | 200 | 15 | 250 | 30 | | | | |
| | SS(mg/L) | 200 | 50 | 250 | 60 | | | | |
| | ノルマルヘキサノール(mg/L) | 35 | 20 | 40 | 25 | | | | |
| | T-N(mg/L) | 25 | 20 | 30 | 25 | | | | |
| | T-P(mg/L) | 10 | 8 | 20 | 16 | | | | |
| | 大腸菌群数(個/cm ³) | 無数 | 0 | 無数 | <3,000 | | | | |
| | 量 (m ³ /日) | 40 | 40 | 50 | 50 | | | | |
| 残さの種類、1 月間の種類別生成量及び処理方法 | | 濃縮汚泥◎◎m ³ /日は業者回収 回収業者名◎◎ (株) | | | | | | | |
| 排出水の排出方法 | | 排水口の位置: 別図 7、排水口の数: 1、排出先: ◎◎水路→◎◎川 | | | | | | | |
| その他参考となるべき事項 | | | | | | | | | |

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

(記載方法)

- 1 工場等における施設番号
工場等の全施設のうちから当該特定施設を特定するために当該工場又は事業場において用いている番号を記載
- 2 処理施設の設置場所
「別図 3」に記載し添付
- 3 設置年月日・工事着手予定年月日・工事完成予定年月日・使用開始予定年月日
設置年月日は記載不要で、その他は、予定年月日を記載
- 4 種類及び型式
施設の種類、型式を記載し「別図 5」を添付。
- 5 構造
主要な材質・構造を記載し「別図 5」を添付
- 6 主要寸法
施設全体の外形寸法又は主要部の寸法を記載し「別図 5」を添付
- 7 能力
施設を 1 日最大限稼働させた場合の能力を記載
- 8 処理の方式
処理の方式について記載
- 9 処理の系統
処理系統をフローシートに記載し系統図及び設計計算書を記載した「別図 6」を添付
- 10 集水及び導水の方法
施設から汚水等の処理施設に至る経路を図面に記載した「別図 7」を添付
- 11 使用時間間隔
1 日における通常の使用開始時間と使用終了時間を記載
- 12 1 日当たりの使用時間
1 日当たりの使用時間を記載
- 13 使用の季節変動
施設の使用時間、使用方法に季節的な変動がある場合その内容を記載
- 14 消耗資材の 1 日当たりの用途別使用量
処理施設において、中和・凝集・酸化・その他の反応に使う薬品等の 1 日当たりの使用量を記載
- 15 汚水等の汚染状態及び量
処理施設の使用時における入口（処理前）及び出口（処理後）の水質の通常値（平常運転値）及び最大値（処理能力値）並びに水量の通常量（平常運転量）及び最大量（処理能力量）を記載
- 16 残さの種類、1 月間の種類別生成量及び処理方法
処理により発生する発生残差の 1 か月間の種類別生成量を記載
- 17 排出水の排出方法
排水口の位置、数、排出先（例：◎◎水路→◎◎川）を記載し「別図 7」を添付
- 18 その他参考となるべき事項
その他参考となるべき事項があれば記載

別紙 4

排水水の汚染状態及び量

| 工場等における施設番号 | | 排水口No. 1 | | 排水口No. 2 | |
|--------------------------|---------------------------|----------|---------|----------|---------|
| 排水水の汚染状態 | 種類・項目 | 通 常 | 最 大 | 通 常 | 最 大 |
| | pH | 5.8～6.8 | 5.8～6.8 | 雨水専用排水口 | 雨水専用排水口 |
| | BOD(mg/L) | 10 | 20 | | |
| | COD(mg/L) | 15 | 30 | | |
| | SS(mg/L) | 50 | 60 | | |
| | ノルマルヘキサン(mg/L) | 20 | 25 | | |
| | T-N(mg/L) | 20 | 25 | | |
| | T-P(mg/L) | 8 | 16 | | |
| | 大腸菌群数(個/cm ³) | 0 | <3,000 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 排水水の量(m ³ /日) | | 通 常 | 最 大 | 通 常 | 最 大 |
| | | 40 | 50 | | |
| その他参考となるべき事項 | | | | | |

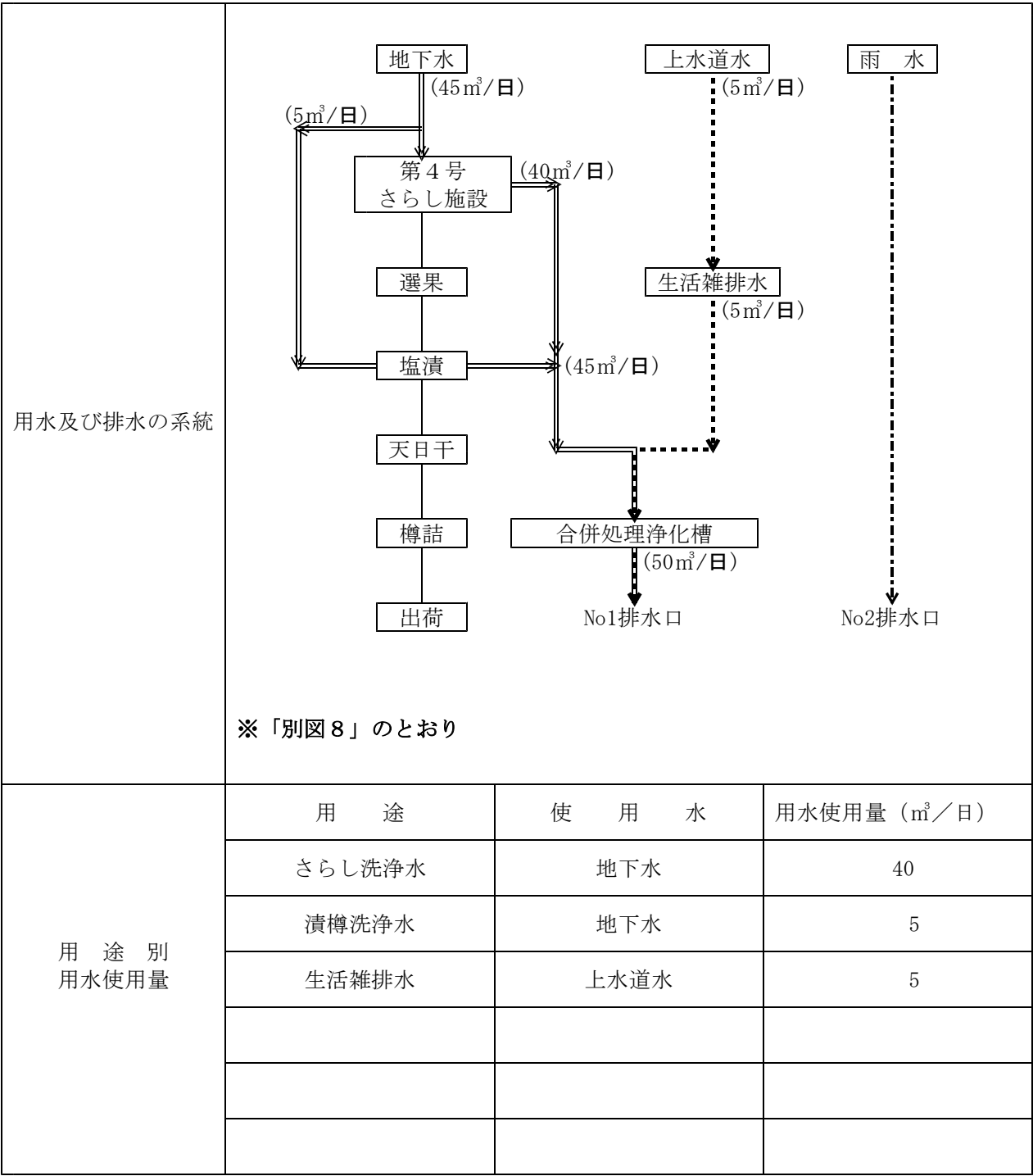
備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

(記載方法)

- 1 工場等における施設番号
排水口の番号又は名称を記載
- 2 排出水の汚染状態
排水口別に1日の排出水の水質の通常値(平常運転値)及び最大値(年間最大運転値)を記載
種類・項目:排水基準規制項目のうち、工場等で関係する種類・項目
- 3 排出水の量
排水口別に1日の排出水の水量の通常値(平常運転量)及び最大量(年間最大運転量)を記載
- 4 その他参考となるべき事項
その他参考となるべき事項があれば記載

数値突合＝「排水口No.1」最大水量＋「排水口No.2」最大水量＝別紙5「用水及び排水の系統」
合計水量＝別紙5「用途別用水使用量」合計水量

用水及び排水の状況



(記載方法)

1 用水及び排水の系統

水量：最大水量を系統別に色分けする等区別して記載。「別図 8」を添付しても可能

用水：「工業用水」、「上水道水」、「地下水」、「海水」、「河川水」、「雨水」、「循環水」別の種類で記載

2 用途別用水使用量

用水及び排水の系統に記入された水量の内訳を記載

用 途：洗浄水、間接冷却水、生活雑排水等の区分で記載

使用水：用水の種類を記載

数値突合＝「用水及び排水の系統」合計水量＝「用途別用水使用量」合計水量

＝「用水及び排水の系統」合計水量＝「用途別用水使用量」合計水量

＝別紙 4 「排水口 No. 1」最大水量＋「排水口 No. 2」最大水量